

●委員からの意見 集計結果一覧表(案)(R5.11.13まで)

対象事案の名称:小美玉市新まちづくり構想～新たな交流を目指して～(案)・百里飛行場新交流拠点整備基本計画(案)・百里飛行場周辺財産活用基本計画(案)

1. 意見提出者数 3人

提出方法	人数
郵送	1
ファクシミリ	0
電子メール	2
電子申請	0
直接持参	0
合計	3

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見の内容	意見数	市の考え方(回答)
1	百里飛行場新交流拠点整備基本計画	玉里地区の基本計画が載っていなかったのですが、構想にはあっても基本計画には落とし込まないのか。	1	小美玉市新まちづくり構想は、市内全域で13のエリアがあり、現段階で基本計画レベルでの整理ができていないため、構想を策定した後に基本計画以降を進めることとしております。なお、百里飛行場前と羽鳥駅前、着手段階から新まちづくり構想策定と同時進行で基本計画を策定することとしていたものでございます。
2	小美玉市新まちづくり構想	人口維持出来る地区を優先に投資しないのか。	1	新まちづくり構想は、小美玉市第2次総合計画後期基本計画における「まちがにぎわうわいわいプロジェクト」を具現化するものであり、百里飛行場前と地域住民が共存・共栄できるまちづくりを推進することを目的としております。なお、人口維持出来る地区の定義が明確でなく、指定することは困難であると考えます。
3	小美玉市新まちづくり構想	旧小川駅と小川小跡地利用をつなげて考える計画は、ありますか。	1	旧小川小跡地周辺は、国交省補助を活用して整備する計画を考えておりますが、補助対象は立地適正化計画で定められた居住誘導区域内になるため、現時点では旧常陸小川駅と旧小川小跡地をつなげて考える計画はありません。しかしながら、旧小川小跡地周辺及び市街地エリアと旧常陸小川駅は近い位置にあることから、将来的には、つなげて整備することは想定されます。
4	全体	最初に注釈をつけて資料1は構想(案)であること、資料2と資料3は計画(案)であることを明記すべきかと思われま。前回会議時では、同じようなことが繰り返し書いてあることに困惑してしまいました。その違いをもって読んでいただくのが良いかと思われま。	1	パブリックコメントでは、資料1・資料2・資料3という表記はせず、小美玉市新まちづくり構想～新たな交流を目指して～(案) 百里飛行場新交流拠点整備基本計画(案) 百里飛行場周辺財産活用基本計画(案) と表紙に記載する予定です。
5	全体	資料の量が多いので、ダウンロードも大変ではないかと思われま。庁舎でも読めますとあれば、そのような方も出てくるかと(以前にもそのようにやられていたなら、失礼しました) 思いました。	1	パブリックコメントは、本庁及び各総合支所の3か所に閲覧場所を設け、印刷した構想等(案)を設置して実施しま。ご指摘のように量が多いため、概要版も作成して気軽に手に取ってもらえるよう配慮する予定です。また、ホームページにも掲載しま。

6	百里飛行場新交流拠点整備基本計画(案)	<p>委員会の流れの中で意見を言ってきたが、20年後や30年後には図書館などは必要なくなっていると思う。AIなどの発達の延長で他の情報媒体にかわっていると考え。この案などは全く陳腐なものと思う。なお、資料2のP30の施設事例、芦屋基地「おんがみらいテラス」に図書室は見られなかった。(情報のミスではないか。)</p> <p>※図書館については生涯学習時代の観点からすればどうしても必要なものと考えるのでこれらのプランとは別に、スピード感をもった政策としてとりあげていただけないか。AIの時代を迎え、若者にはReskillingの時代が来るものと考え。そのような時代の進展に対応できるような情報を市民に与えるような施設が早急に必要であろう。小美玉市の中央図書館として「みの一れ」の敷地内に2,000㎡程度の施設をつくることはできないか。(以前、美野里町の時代にそのような動きがあったやに聞いている。)そして、他の2つの図書館とオンラインでゆるやかな情報共有をしてはいかかがか。</p>	1	<p>20年後や30年後に不必要になるかも知れない施設に多額の公費を投入して建設することは難しいため、既存の施設やシステム(図書利用カードや移動図書館)を有効に使うことを検討することも考えられます。</p> <p>また、芦屋基地「おんがみらいテラス」は、1階のフリースペースに図書スペースがありますので、資料2のP30の「図書室」の表記を「図書スペース」に修正いたします。特に、本事例は、本市でも活用を予定している防衛省の補助金(まちづくり支援事業)を活用して整備された施設として掲載しています。</p>
7	百里飛行場周辺財産活用基本計画(案) P32の「アグリパーク」	<p>「農作物の研究施設」は大切、「みらいの農を楽しむ」のではなく、農作物工場など未来の農業を研究し、未来の近郊農業の発展を図り小美玉市の産業の進展を促す。若者が就農しやすいような環境をつくるのが大切である。(旧小川小学校の活用などは考えられないか。)</p>	1	<p>「みらいの農を楽しむ」は、活用テーマの一節ということでご理解いただき、ご指摘の小美玉市の農業や産業の進展に関することについては、小美玉市第2次総合計画などにに基づき進めてまいります。</p> <p>また、旧小川小学校については、資料1のP62～P63に掲載したとおり、すでに「旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画」が策定されており、公園などを整備する予定です。</p>
8	全体	<p>小美玉市の3地区の独立とゆるやかな統合(調和)を促すような事業が考えられないかは大切なポイントである。</p>	1	<p>小美玉市が誕生して17年が経過しました。これまで、小美玉市の均衡ある発展と市民の一体感の醸成を図ることを念頭に様々な施策を推進してまいりました。</p> <p>持続可能な市政運営を図るため、ハード面においては、「小美玉市公共施設等総合管理計画(改訂版)」や「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画」に基づき、公共施設の統合や集約化を進める時期に来ております。</p> <p>また、ソフト面においては、旧町村の意識をなくし、小美玉市民としてまちづくりに携われるような環境を整備する必要があると思います。</p>
合計		8		